

魅ニュース

新年明けましておめでとうございます。旧年中は一方ならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。本年も何卒倍旧のご鞭撻とご指導を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

昨年は58年2月頃より続いた好況が峠を迎え下降線に転じたことや9月の円高ショックなどにより銅価は著しく低下し12月に魅の価格帯は価格表の之より下はないという最低の価格帯になりました。日経商品指数によりますと昭和45年を100として60年12月の総合指数は163.5であります。非鉄は101.8で現在の価格水準が16年前と何等変わってないという特異な現象を示しております。因みに石油は590.2・木材151.4・鋼材141.3であります。卸売物価指数が近年落ち着いた動きになっているとはいえ、あらゆる商品の中で非鉄金属ほど低いものは他に例をみないのです。なぜ非鉄金属は特別に低価格水準にあるかについては色んな理由がありましょうが一番大きな要因は主要産出国が低開発国や発展途上国に偏寄っており、それらの国が非鉄金属の輸出に財源収入の多くを依存していて減産できないところにあるといえます。従って本年の価格の展開がどうなるかを考える場合、更に大幅な円高がない限り現在水準より更に下がる可能性は乏しく、反対に上がる条件も現在の国際経済の動きから期待される材料がやや少ないと思わざるを得ません。無責任な推定をあえてするなら現在水準より10% upが精一杯の高値で安値は3% down位ではないでしょうか。魅の価格帯も現在の350円以下の価格帯で殆ど終始するのではないかと見ております。

さて、話は変わりますが最近電線メーカーの営業の方から興味ある話を伺いました。それは、電線問屋さんの話です。電線業界はその需要の可成りの部分を建築関係向けが占めておりますが、ここ数年は量の落ち込みが激しくシェア確保・量の確保が優先して過当競争、過剰サービスによる低採算に悩みメーカーも通産省の指導により業界あげて構造改善にとりくんでいかねば共倒れになると真剣になりだしたそうであります。流通もその悩みはメーカーと同様あるいはそれ以上でメーカーの動きに半信半疑であった流通もメーカーが構造改善の具体的行動に移ったのを見て、もはや足のひっぱり合いに明け暮れている時ではないと過当競争、過剰サービスについて集まり話合うようになりました。将来に危機感をもつ流通各社の真剣な話合いとその協力が見事成果を収め60年は流通のほとんど全社に近い企業が史上最高の売上と利益を出すという好決算をあげたそうです。

電線業界がエレクトロニクス関連の前年より大幅に落ち込みで売上がダウンする商品があったにも拘わらず未曾有の決算ができた原因を尋ねました。それはこういうことが一番大きい要因ですと次のような内容の話でした。

「昔は工事業者へ電線を販売する場合、束単位で商いをしていたのがいつのまにか必要m数だけになり、それも今日注文して明日、ひどい場合は今すぐということもあり、そのため受注ミスや出荷ミス、又製品の半端ロスが増え、更に配達が遅くて工事に間に合わないとキャンセルされる、しかもm切断売りも束売りも値段は同じで切り売りが全くサービスという状態で皆がするから自分のところしなければお得意先が他所へ行ってしまうということで泣く泣くやっていたことを、「経費がかかりロスを作る切り売りは時代の要請だから対応は必要だがそれに見合う価格で買っていたらこう」ということで少量商いについて細かく少量増値価格をきめ、それを各社が営業マンにその必要性を十分に認識させお客様へ根気よく説明・理解してもらおうように努めた。ともすれば協同歩調を必ず破るところが出て、もとの木阿彌になりやすいことがメーカーが共販会社を新設してメーカー数を集約することと同じ効果をあげる構造改善の実行を推進しているという背景もあって、腰だけになりやすい流通各社を奮い立たせ困難であった少量増値を工事業者が受け入れ、実現を見たそうであります。例えば利益率が5%しかなかったものが束売りは5%・切断売りは8%というようにupし、商いも束売りが自然増えた。当然、メーカーや流通の在庫が一部工事業者に移動したでしょうし販売量の増加という現象につながった。この事からあらためて商売の基本をはずれたら皆が駄目になるし基本をふみはずさず基本の上に立って商いをしていく事がどれほど大切なことであるか証明されたのではないだろうか」というような話でした。

この話を聞いて我々も他山の石として大いに考え行動に移すべきではないかと感銘しました。私共の営業活動の中に過当競争や過剰サービスがないだろうか。それが我々の経営を圧迫していないだろうか。売上の拡大や利益率の向上は足許の商売の基本的なところにあるというお話でした。寅年は中国の説文によりますと「陽動かんとするも陰なお強し」という年だそうです。各位には健康に留意しこの難関を無事乗り切られ明日の繁栄を築かれますようお祈り申し上げ新年の挨拶いたします。

☆ 1月の魫基準建値は 327円/kg

60年12月の電気銅建値は1～15日320円, 16～28日330円で平均銅価は325円でした。61年1月の電気銅建値は330円でスタートしました。従って1月の魫基準建値は $(325 + 330) \div 2 = 327.50$ となり円未満切り捨て327円となります。価格帯は先月同様350円以下の欄です。

☆得屋根（とくやね）セール終了

昨年10月21日より2ヶ月間に亘って行いました得屋根セールには絶大なご協力を賜りお陰様で所期の成果を達成することができました。厚くお礼申し上げます。景品の発送はお申しつけ賜り次第お送り致しておりますが、まだお申し入れ頂いてないものがございましたら至急ご連絡下さいませようお願い申し上げます。

魅ニュース

梅の蕾がいつのまにか膨らんできているのを見て春の訪れが近づいてきているのを知ると、なんとなく嬉しさを覚えます。南の方ではもう梅だよりが報じられ鶯も里へおりてきてさえずりはじめたとか、寒いのも今暫くの辛抱です。

円高は予想された以上の早いピッチで進行しておりどの辺で落ち着くのか予断を許しません、20%も上がったのですからこの辺で落ち着いてもらわないと景気に大きな悪影響を及ぼすことが案じられます。非鉄市況も円高の影響を受け2月の建値は1万円下がり再び1トン32万円になりました。銅板・条の価格も大幅に下がり近年にない安値になっております。ここまで安くなりますと、板厚を0.35や0.4にしても去年の0.3や0.35よりまだ安いのですから、是非使用板厚を厚くされるようお勧めしたら如何でしょう。

例えば60年2月の0.3×365×1212は1枚1.2kg kg@610 1枚732円位でした。現在0.35×365×1212は1枚1.4kg kg@480 1枚672円です。このように具体的に計算して店頭に掲示していただいたりセールスの方々がユーザーさんに説明されれば理解していただきやすいと思います。使われる板厚が0.3から0.35にボトムアップされると現在月2000屯と言われている建材用銅板・条の生産量が17%程度上昇し2300~2400屯になります。之はメーカーにとっても流通にとっても好ましいことです。是非板厚を厚くして使っていただくようお勧めする販促活動を業界ぐるみですすめていくべきだと思います。

春近しとはいえ、未だ寒き厳しい折柄、皆様のご自愛をお祈り申し上げます。

☆2月の魅基準建値は325円/kgです

1月の電気銅建値は330円で終始しました。2月の電気銅建値は10円下がり320円でスタートしました。従って2月の魅基準建値は $(330 + 320) \div 2 = 325$ 円となりました。魅価格帯は前月同様350円以下の欄で変わらずです。

☆パレット返却のお願い

魅の安全輸送のため専用パレットを使っておりますが、回転が悪いため不足して困っております。1ヶでも空き次第、混載便着払いでお送り下さい。お手数でしょうかよろしくお願い申し上げます。

魅ニュース

2月はフィリピンの大統領選挙に関するニュースでもちきりでした。テレビも新聞も詳細な報道をしたので、行ったことも見たこともない者も知らなかったフィリピンのことが色々わかってきました。難問題山積のフィリピンの情勢が新政権誕生を機に一気に解決するとは考えられませんが少なくとも前進へ歩み始めたことは戦争中多大の迷惑をかけ、今多額の経済援助をして同じアジアの一員として深いかわりのある日本にとっても歓迎すべきことであります。

非鉄金属業界もフィリピン同様、難問題が山積しております。アルミ精錬業界は石油ショック以降失った国際競争力を回復できないまま推進中の第三次構改事業の半ばで“存亡の瀬戸際”に立たされており、産銅会社も銅価の低迷と円高のダブルパンチで精錬費収入が落ち込み存亡の淵に立たされており亜鉛・鉛も同様であります。川上の水が汚れば川下の水も濁るように、川上の状況は川下の状況に直接に影響します。新技術の研究開発も素材まで逆昇って道が開けることも多くその意味で精錬メーカーの技術の維持発展なくして非鉄金属業界の発展もあり得ないといえます。精錬コストが高く国際競争力がないため、海外からの輸入地金が増加する傾向に歯止めはかからないうが優れた精錬技術の発展の灯が消えないようにしなければ日本経済にとっても大きな損失になる憂いがあります。

☆ 3月の魅基準建値は303円/kgです

2月の電気銅建値は1～12日320円、13～28日300円で、平均建値は307円37銭でした。3月の電気銅建値は300円で据置でスタートしました。従って3月の魅基準建値は
 $(307.36 + 300) \div 2 = 303$ 円68銭となり円未満切り捨て303円となりました。
魅価格帯は前月同様350円以下の欄で変わりません。

魁ニュース

3月下旬の冷え込みで停滞していた桜前線もいよいよ北上を開始し日本全土が春一色になる好季節がやってきました。折しも甲子園球場では春の選抜高校野球大会が始まっていますがハンディの多い雪国のチームが優勝候補を倒すなど実力イコール結果とならない意外性が球趣を盛り上げています。4月4日からはプロ野球も開幕します。今年も阪神タイガースフィーバーが再現されるだろうか興味のある所です。みなさんもひいきチームの活躍を期待しておられることでしょう。

さて、今日より新しい年度がスタートしますが円高の影響はボティプロの如く、日を追って色濃さを増してきております。おそらく円高低金利は定着し1~2年以内に1ドル150円時代が来ることは必至でありましょう。日本が「加工輸出業」を本業とする国である以上プラスよりマイナスの影響を受ける企業の方が多く中小企業においてはその影響は極めて深刻なものがあります。経験したことのない新しい局面を迎えて、変化に対応して生き残っていくため何をなすべきか今や経営者及幹部が真剣に考え行動すべき時であります。皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

☆4月の魁基準建値は300円/kgです

3月の電気銅建値は1ヶ月間300円で終始いたしました。4月の電気銅建値は変わらず300円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は300円となります。魁価格帯は350円以下の欄で前月と同じです。

☆パレット返却のお願い

魁の安全輸送のため専用パレットを使っておりますが、回収成績が悪く不足して困っております。

1ヶでも空き次第、混載便着払いでご返送下さるようお願い申し上げます。

尚、今後パレット管理を強化するよう致しましたので代理店の皆様のご協力ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

しかし長年しみこんだアリさん体質は仲仲変えられません。さあ今日も一生懸命頑張らしましょうか。

☆銅一文字魘価格表の改訂

電気銅建値はとうとう300円/kgを割り、290円/kgになりました。この価格は昭和38～39年頃の水準であり40年代50年代にはなかった低価格水準であります。しかし円高傾向の定着からみて当分300円を割った水準が続くと考えられますので350円以下の欄が一番低い価格帯でありましたがこの価格帯を300円超～350円以下の価格帯とし新しく300円以下の価格帯を設定することにいたしました。実施は5月1日納入分より適用いたします。同封別表を現在ご使用中の価格表に綴じて下さるようお願い申し上げます。

☆ステン一文字魘の価格改訂

カラーステンレス魘の需要が最近高まってきました。当社では一層の需要の拡大を図かりたく、日本冶金工業（株）の協力を得て価格を引き下げることいたしました。同時にカップーソフテン魘も引き下げます。新価格表を同封いたしましたので銅一文字魘同様ご用命を賜りますようお願い申し上げます。

☆5月の魘基準建値は293円/kgです

4月の電気銅建値は1～21日300円、22～30日290円で平均銅価は297円14銭でした。5月の電気銅建値は290円でスタートしました。従って5月の魘基準建値は $(297.14 + 290) \div 2 = 293$ 円57銭、円未満切り捨て293円となります。本日お送り申し上げます300円以下の価格帯となりますので販売価格お間違いなきようお願い申し上げます。

魁ニュース

野山は萌える新緑に彩られ、空には鯉のぼりがのどかに泳ぎ、暑くもなく寒くもなくさわやかな美しい季節になりました。去る4月29日、今上天皇の御即位満60年を寿ぐ記念式典が国技館で挙行されましたが歴代天皇で一番ご長命であられるようで心より寿ぎたいと存じます。激動の昭和年代を見てこられた一人の人間としても今日の平和な日本に万感の想いとおありのことでしょう。

平和日本のシンボルとして益々のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。

またまた円高のことになりますが、世界各国から日本経済へのさまざまな干渉がより一段と激しさを増してきております。4月26日から28日迄のNHK特集番組を多くの方が見られたことと思いますが、イソップ物語のアリとキリギリスの童話でわれわれ日本人は蟻を勤勉な努力家、キリギリスを怠け者と評価し前者は善、後者は悪と之は全く自然な考えで人間すべて共通の見方であろうと思込んでいましたが、欧米では我々の見方とは異なってアリの人物にまで手を伸ばすきたない奴だと評価していると知って正直吃驚しました。共通に持っている知識や判断を常識といいます常識と思こんでいるため他国民の感情がよく理解できずその為国際社会から白眼視されていることがわれわれ日本人には多々あることを更めて思い知らされました。我々日本人が祖先より受け継いできたものの上に今日の繁栄が築かれているのですからアリを勤勉家として垂範してきたことが間違っていたとは言えない。しかし、自然（気候風土、地理的条件など）や文化（歴史、伝統等）や社会体制（自由主義、全体主義等）の違いが存在しその上に価値感や常識が形成されているのですからどちらが是か非かの議論でなく理解しあうことが何より大切なことだと思います。

そして今、麻雀でいえば「振りこまずに1人で和了っている強いけど嫌な奴」と見られるほど繁栄している日本が国際社会の中でながーいおつきあいをお願いするには和了を一人占めせずたまには満貫を振り込んで愛されるようにならねばいけないんじゃないかと思うのです。

それにしてもイタリア人が月給13万円で別荘を持っているなんて話をきくと日本は官庁と大企業だけがどしどし力をつけているんであって我々国民の多くはまだ二流国家の水準にすらいつてないんじゃないか。税金はすこぶる高率であるのに社会資本の充実いまだ乏しくその恩恵も少なく兎小屋を持つために大切なことを見失ってしまうほど働かねばならない。それで自由世界第二位なんて絶対ダメされないぞと思うのです。

魅ニュース

通勤や通学する人の服装が夏服にかわり涼しげにみえますが、通勤電車が地獄のようになる蒸し暑い季節がやってきました。

サミット会議、チャールズ・ダイアナご夫妻の来日等、5月は外国からの来客が多く賑やかでしたが6月は衆参同日選挙がスタートし一層騒々しくなります。選挙月は商いがどうしても低調になりやすく、梅雨入りの季節と重なってきびしい月になりましょう。

円高傾向が一服し、175円前後まで戻ってきたこともあって国際商品も底をうち一部小戻し始めています。電気銅市況も海外市場(LME N, Y共)が反発し値下がりが一辺倒であった流れも止まり少々反騰する場面もでてくるのではないのでしょうか。

今月より7月末まで2ケ間、例年より長くサマーセールを行います。より高い成果が上がりますようご協力ご支援のほどお願い申し上げます。

夜風に当たっての風邪、食当りの下痢など体調の狂いやすい季節です。皆様の御自愛をお祈り申し上げます。

☆サマービアーセールのご案内

すでにチラシをお手許へお届け致しておりますように本日より7月31日迄の2ケ月間セールを行います。価格も300円以下の最も低い価格帯であり、この機に営業成績向上に大いに役に立つ主力商品として魅の拡販を推進していただきますようお願い申し上げます。本体2%お買い上げ毎に(1)生ダル2枚 (2)ビール券2枚 (3)アイスクリーム券2枚のいずれかをプレゼントいたします。景品と商品を積みこんでの同行セールが最も効果が上がっているようですが当社営業担当者へ日程のご指示など御下命賜りますようよろしくお願い申し上げます。

☆6月の魅基準建値は281円/kg

5月の電気銅建値は1~12日290円、13~31日280円で平均銅価は283円33銭でした。6月の電気銅建値は据置で280円でスタートしました。従って6月の魅基準建値は $(283.33 + 280) \div 2 = 281$ 円66銭となり円未満切り捨て281円となります。従って6月の魅価格は300円以下の価格帯です。

魁ニュース

選挙戦もたけなわとなりテレビ・新聞・街頭と選挙一色の観がいたします。結果がどうなるか神のみぞ知るところでありますが大勢に変わりはないと棄権などしないでたかが一票と言えど国政へ参加する唯一の機会ですからよく考えて投票したいものです。

選挙の間、一服した感のある為替市況も早や円高の動きを見せ始めていますが円高の影響は月を追う毎に拮かりを見せ深刻なデフレ不況の様相を濃くしてきております。

銅市況も米国の産銅労使交渉の進展を反映して軟弱に推移しており7月の国内建値は27万円と昭和38年の価格水準になっております。本当に安くなったものです。これには勿論円高が影響していますが、本質的には物ばなれとか軽薄短小が世界的なものでありそのため大量生産型商品である素材商品の供給過剰が長びいていることにあると言えないでしょうか。安くなったせいか屋根用銅板条の動きは比較的順調で伸銅メーカーも価格面ではロールマージンが大きく割り込んでいますが数量的にはまずまずの水準をいっております。エレクトロニクス関連のウェイトが高いメーカーでは建材用を減らさざるを得ないところも出てきております。魁は今、サマービヤーセール真っさなかですが折り返し点での成績はお陰様でまずまずの売れ行きを見せておりますが、目標には残念ながら今一步のところ。あとゴールまで今月一杯なんとか所期の目標を達成せんが為、同行セールに注力いたしますのでご協力下さいますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

☆ 7月の魁基準建値は275円/kgです

6月の電気銅建値は280円/kgで終始しました。7月の電気銅建値は前述の通り270円/kgでスタートしました。従って7月の魁基準建値は $(280 + 270) \div 2 = 275$ で275円となりました。価格帯は前月と同じ300円以下の欄であります。

魅ニュース

今年は梅雨シーズンが長かったせいか、夏が突然やってきた感じがします。海や山もシーズンインですが出足が遅かったことで今一つとか。暑いことを喜ぶ商売の人も多勢おられるのですから出遅れたぶんを取り戻す勢いの猛暑が続けば良いかと思えます。

為替市場は水銀柱の上昇と比例するような円高市況で150円割れを予測する筋もありますが銅市況は円高の影響を直接反映した動きで7月は建値を3回修正しようとう250円/kgと昭和26年の市況まで下がりました。銀もkg当り26000円前後で最早貴金属でなく非鉄金属のひとつだといってよい価格水準です。このような低価格では国内鉱山は壊滅で産銅会社は存亡の危機に曝されており、精錬部門は集約化を進めざるを得なくなっております。非鉄金属業界は円高の影響を受けている業界の中でも最も厳しい方に入る業界ですがサバイバルのため各社は今必死の対応をせまられています。伸銅各社も価格低下と共に落ち込んだロールマーチンの回復に各社共真剣にとりくみ始めました。LME（ロンドン金属取引所）にスライドする取引システムは極めて合理的なシステムですが、ここまでくると全く問題がないとは言えません。一方でまったく値下がりしない商品がたくさんあるのも困ったことですが、真っ正直に円高を映す価格メカニズムもそれに関わる業界すべてに多大の犠牲を強いて業界を疲弊させるので程度問題といえましょう。

☆ 8月の魅基準建値は254円/kgです

7月の電気銅建値は1～9日270円・10～22日260円・23～31日250円で平均銅価は259円57銭でした。8月の電気銅建値は250円据置きでスタートしました。従って8月の魅基準建値は $(259.57 + 250) \div 2 = 254.79$ となり円未満切り捨て254円となります。価格帯は前月同様300円以下の欄です。

☆ サマービアーセール終了

サマービアーセールを6月1日より実施いたしましたがお陰様で7月31日所期の目標を達成し終了いたしました。期間中代理店各位には売上増進に積極的にお取り組みいただき目標達成に絶大なるご協力を賜りました。紙上を借りて衷心より厚くお礼申し上げます。尚、10月21日からは秋のセールを予定しておりますのでその節には尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

☆売れ筋サイズに変化の兆し

建材用の銅板・条は価格が安くなったためか0.3から0.35へ0.35から0.4へと、より肉厚のものへ需要がシフトする傾向になってきました。このため伸銅メーカーの生産量も月平均2000トンから最近は2500トンへ昨年より25%位増加しているようです。厚いものを使用することは耐久性を増加させることになり、好ましい傾向であります。

☆古河の広幅銅条

古河の広幅銅条が発売開始以来、約6ヶ月経過しましたのでリピートオーダーも増加し、売れ筋傾向がほぼ明らかになってきました。914mm幅が80%そしてその80%が0.35mmで全体の65%近くが0.35×914mm幅であります。従ってこの0.35mm×914mm×20Mのコイルのみ在庫をして即納態勢をとり他のサイズはオーダー毎にお下命下さればよろしいのではないのでしょうか。

魁ニュース

晩夏をつげる寒蟬（ひぐらし）が鳴き始めるときすが朝晩はひえこみ、確かな秋の近づきを覚えます。二学期が始まり通勤電車も又混み方がひどくなりました。寅年もあと4ヶ月で兎にバトンタッチしますが今年は虎がフィーバーせずセントラルリーグの優勝は久し振りに巨人でほぼ決まったように思います。パシフィックは混沌としています、ひょっとすると清原・桑田の対決が見られるかも知れません。パ・リーグにあまり関心のない野球ファンも清原と桑田のどちらが投げ勝つか打ち勝つかとなると之は又別で誠に興味深いゲームとなりましょう。

8月29日付の新聞紙上に住宅着工数が前年同月より上伸と報ぜられていましたが荷動きはいかがでしょうか。デイスインフレ（インフレの終熄）からデフレへ移行し不況色が益々濃くなってきております。どうすれば赤字経営を避けられるか益々激烈となる企業競争の中で生き残っていけるか、名案が浮かばず先の見通しが立たず誠に悩み深く、厳しい時代の真只中に孤立している感がいたします。大企業は設備投資を控え本年の経営活動による利潤獲得の減少を低利の起債で得た資金の財テクでカバーしようとして一部ではかなりリスクの高いことにも手を染めておるようですが、力のない我々が真似ても柳の下にドジョウとはいきまずまい。やれることは限られております。隣の芝生はきれいに見えるものです。遠目からは美しく見える芝生も近くでよく見ると雑草が結構はびこっているものです。隣の芝生には目もくれずひたすら我が家の手入れに精を出すことが、肝要なのではないでしょうか。

☆ 9月の魁基準建値は243円/kgです

8月の電気銅建値は1～19日250円・20～31日240円で平均建値は246円19銭でした。9月の建値は240円でスタートしましたので9月の魁基準建値は $(246.19 + 240) \div 2 = 243$ 円10銭で円未満切り捨て243円となります。250円を割りましたので、新しく250円以下の価格表を作成し、本日同封お送り申し上げます。販売価格も需要促進のためすみやかに250円以下の新価格表に改訂されますようお願い申し上げます。

☆ 魅新価格表作成に着手

現在の魅価格表は300円以下の欄がなく基準建値が大幅に下落した今日では用をなさなくなっております。又表紙に設けております魅基準建値を記入する欄も本年一杯で埋まりますので、この際新しく作り直し年内にご配布するよう改訂に着手いたします。

☆ 古河の広幅銅条値下げ

古河電工の広幅銅条が9月1日より改訂されましたので新価格表をお送り申し上げます。改訂された部分は300円以下の価格が新たに設定されたこと、大コイルの標準重量が改訂され標準重量コイルについては少量増値がなくなったことの三点です。

☆ 魅基準建値足取り図



魁ニュース

「秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる」

「古今和歌集」にある秋歌のひとつです。いにしえより四季のうつろいに恵まれた日本人は自然の変化には鋭敏で繊細な神経を持っていますが、それでも予知できないことは数多くあります。忘れた頃にやってくるという天災、例えば地震などもそのひとつです。なまなましい話ですが取引先の倒産などはまさしく上掲の歌の如く吹く風に嗅ぎとらねば姿が見えたときはもうすでに遅く大きな被害を蒙ることになります。地震は地下のことですから人間の予知能力を超えたことで予知することは「なまず」さんにまかせ目に見えたときに慌てない準備をしておくより致仕方ないですが、経済現象における変化はすべて量的蓄積が齎らす質的变化といえますから、その兆候は目に見え、変化のきたるを予知することは決して不可能なことではありません。その為には継続した緻密な調査・研究と高度な判断力が必要であり仲々むつかしいことでもあります。そして高度な判断力とは概してカンであることも又事実であります。東海銀行調査部が150円の円高を早くに予知したことは周知のことであり、その調査部が今ドル下落と1929年の世界経済恐慌再来の可能性大と発表していますが傾聴すべきことでもあります。

宮本武蔵は晩年の書「五輪書」に兵法の奥義として「目に見えぬを悟って知る」と書き記しておりますが、後の轍を踏まぬためにも秋の兆しは風にしっかりきいておきたいものです。

☆ 10月の魁基準建値は249円/kgです

9月の電気銅建値は1～4日240円・5～30日250円で平均建値は248円でした。10月の電気銅建値は250円でスタートしましたので10月の魁基準建値は $(248 + 250) \div 2 = 249$ 円となります。価格帯は前月と同じ250円以下の価格となりますので一層のご用命をお願い申し上げます。

☆ 10月21日より2ヶ月間

〝好きやねんセール〟実施

平素のご愛顧に感謝し一層のご愛用者拡大のため、〝好きやねんセール〟を10月21日より12月20日迄2ヶ月間行います。ユーザーさん流通さん、そして私共とよきコミュニケーションを保ちより親密な関係を深めたいと念じ「愛してるわ」の別言葉を関西弁で「好きやねん」といいます。がみなさまにもこの2ヶ月は「好きやねん」と大いに声をかけて商いをさせていただきたいと願っております。チラシ兼店頭ポスター（ポスターにしては小さいので数枚かためて貼って下さい）は中旬にお届け申し上げます。代理店の皆様の絶大なるご支援ご協力を謹んでお願い申し上げます。

勉ニュース

天皇陛下御在位60年記念金貨は、お手に入りましたか。私はまだ手にしておりませんが、手のひらにその重みを感じる時の感慨は人さまごまでありましょ。特に昭和のはじめに生まれた方にとっては、来し方の数々の思い出が金貨の中に凝縮しているような思いがして、金貨を手のひらにのせた時、いとおしくて撫でてやりたくなられる方が多いのではないのでしょうか。地金の価値、或いは記念コインの価値を超越し、人生の重みを感じるものとしてこの記念金貨を大切にしたいと思います。

今日の日経新聞「春秋」欄に東京の異常な狂乱地価に関する問題がとりあげられていましたが、サラリーマンの住宅対策が完全に行き詰ってしまったことが、大きな社会問題になっていくことは必死でありましょ。東京から大阪そして全国へとこの影響が及ぶ可能性も大で、憂うべきことでもあります。土地は必ず上がるという神話が崩れる時がくるのか、或いはインフレが再燃して均衡を保つことになるのか、予断できることではありませんが昭和40年代の狂乱地価とその後の展開を振り返るとその答えが見えてくるようですが、みなさんのお考えはいかがでしょう。

☆ 11月の勉基準建値は250円/kgです

10月の電気銅建値は1～31日1ヶ月間250円で終始しました。11月の電気銅建値は据置で250円でスタートしましたので11月の勉基準建値は $(250 + 250) \div 2 = 250$ 円です。価格帯は前月と同じ250円以下の価格となります。

☆ 「好きやねんセール」実施中

10月21日より恒例のセールを行っておりますが、今回は銘柄米コシヒカリ「勉」、清酒「勉」勉テレフォンカードと勉づくしで販促商品を揃えました。勉と景品の勉シリーズを積みこんだセールの展開で利益向上を実現して下さいませよう、そして同行セールをお申し付け下さいませようお願い申し上げます。

魁ニュース

山野を彩った木の葉も落ちて、木枯らしの吹く季節となりました。本年もいよいよ大詰めとなり、あわただしくなってきました。振り返りますと、この1年色々な出来事がありましたが、昨年からの円高が定着し日本の経済構造が大きい転換期に突入し、様々な波紋があらゆる産業と企業に及んできていることが何といても強烈であります。造船各社の人員整理、鉄鋼各社の一時帰休や工場の統廃合、輸出型企業の海外への工場移転等、すべて円高定着の中で打ちだされた対策であり、之が関連下請企業に及ぼす影響は今後、益々鮮明になっていきましょう。アジアオリンピックで見られた韓国の躍進ぶりは経済面でも目ざましく、その勢いは我が国の40年代をしのぐほどで、これは台湾にても同様であります。之から成長する国がある一方成長がとまって衰えていく国があり、人の一生、家の盛衰、自然のうつろいすべて輪廻の動きで之からの我が国が今の力を維持していくことができるか誠に厳しいといわざるを得ません。行政改革の目玉、国鉄の民営化はいよいよゴーサインがつかしました。失業率もジワジワ上昇してきています。年功序列の雇用秩序も崩れていきましょう。非鉄金属関連では鉱山がどんどん廃山の方向へ進み、スクラップを扱う故銅業者の転廃業が増加し、伸銅メーカーは後期一段と赤字幅がふえ、昭和50年の時を上回る赤字になるおそれも出てきております。金も余り、物も余っている今日、素材関連の市況回復は当面期待しても無理で無策は豚死を招くだけ、私達も事態の好転を期待したりせずに、生き残っていくすべを講じなければ明日がない状態であります。来年の卯年はそういう意味で弱者の生存術を身につけている兎にあやかり、うんと臆病になって細心に経営にあたっていくべきだと思えます。

この一年、大変お世話になり格別のご愛顧を賜りましたことを紙上を借り厚くお礼申し上げます。

どうか来年もよろしくお引き立て御指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に貴社のご繁栄と社長様はじめ皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

☆ “好きやねんセール” あと20日

10月21日から始まりました“好きやねんセール”もあと20日、12月20日に終わります。

代理店各位の一層の販売強化をお願い申し上げます。

☆セール景品の申し込みについて

セール景品について中間集計でお申し込みいただくか又は12月20日終了後すぐお申し込み下さるようお願い申し上げます。今回は20点商品に特撰米コシヒカリ「勉」、特級清酒「勉」、テレホンカード等どなたにもお喜びいただけるものを揃えております。ユーザー様に新年の挨拶まわりの際、お届けいただければお年玉のようになり、お喜びいただけると存じます。

年内に着きますようお送り申し上げますので至急お申しつけ下さいますようお願い申し上げます。

☆12月の勉基準建値は255円/kgです

11月の電気銅建値は250円で終始しました。12月の電気銅建値は10円上がり260円でスタートしました。従って12月の勉基準建値は $(250 + 260) \div 2 = 255$ 円となります。価格帯は1ランクあがり250円超～300円以下の欄になりますが、12月20日迄のセール期間中は250円以下の価格帯で変更いたしません。12月21日以降は250円超～300円以下の価格帯に変更になりますのでご了承下さい。

☆年末年始休業のご案内

年末の業務は29日(月)で終了させていただきます。ただし、出荷業務は27日(土)で終了させていただきます。尚、新年の仕事始めは5日(月)でございます。